

・地域医療・介護学習会



「がんとともに生きる 患者を支えるまちづくり～地域における緩和ケア連携～」
平和会 平和病院 理事長 高橋 修 先生ご講演



昨年12月12日、平和会 平和病院 理事長 高橋修先生に「がんとともに生きる患者を支えるまちづくり～地域における緩和ケア連携～」をテーマに汐田総合病院会議室にてご講演をいただきました。

地域の医療機関・介護施設・地域包括支援センター等の職員の方たちと当法人グループの職員合わせて85名の参加者でした。

講演では、緩和ケアに対する一般的な認識（治療がすることが無くなってから。看取りの医療。人生最後・陸上のリレー方式）と、実際（がんの診断後に緩和ケアも同時に始める。緩和ケアは様々な施設で取り組まれている。卓球等のダブルスのイメージ）に差があることのお話から始まり、がん患者家族にとってレスパイト入院は大きな支えになること。医療麻薬に対する誤ったイメージが医療者側にもあることにも触れ、患者さんの希望に沿った治療を地域で行えることが大切。とお話しされました。その実現の為には、地域内での施設を超えた多職種連携が必要であり、連続性をもってケアが行える「バリアフリー緩和」が必要であること。また、がんに対しては、個人戦ではなく地域の団体戦で戦うことが大切と、様々なスポーツに置き換えてわかりやすくお話をしてくださいました。

▶ 鶴見区内でICTを活用した連携について

1月10日、「鶴見区地域医療介護連携ネットワークシステム検討委員会合同ワーキング」が行われ汐田総合病院も参加してきました。

患者様の在宅生活を支える上で、情報共有が必要になってきますが、連絡相手が一対一ではなく医療・介護・福祉様々な事業所の多職種が網目のように連絡を取り合うことが必要になって状況になってきています。人と人との繋がりが大切なことは大前提ですが、電話とFaxだけではなくICTを活用して安全に効率的な情報共有ができる地域医療介護ネットワークの構築を検討するものです。

今後はテーマ毎に検討を重ねる予定です。



メモリーカフェ



認知症にまつわる悩み、専門スタッフに相談できます♡

汐田総合病院 会場：ラウンジびゅあ（病院2階）

2月8日(木) 3月8日(木)14:00-16:00

うしおだ診療所 会場：友の会汐田・向井町支部事務所

2月8日(木) 3月8日(木)13:30-15:30



おすすめ書籍 生活保護行政のあり方検討会報告書

昨年1月に小田原市役所で生活保護担当職員が不適切な表記がされたジャンパーを着用していた事件を受けて、「生活保護行政のあり方検討会」が出した報告書です。当時のニュースでも不正受給に対する批判も多く、担当職員への養護の声も多かったとのことですが、この報告書では「担当職員への情緒的な支持や批判のいずれかの立場にたつのでは、本当の問題解決はできない。」としています。生活保護を考える上で一度読んでほしい報告です。ネット検索で読めます。



スタッフのひとこと

正月に撮りだめしたビデオを見る毎日です。黒澤監督の「赤ひげ」を初めて最初から最後まで見ました。前進座の舞台などで数回見たと思いますが。

映画は、今更あれこれ論評できない大傑作ですが、私の心に残った赤ひげ先生の言葉を紹介します。「医療は誰のものでもない。天下のものだ」「貧乏と無知さえなんとできれば、病気の大半はなんとかなるものだ」 T.O



うしおだ総合ケアセンター

We aim to build a non-discriminatory Integrated Community Care System that supports all